



ホットスポットの設定

Cisco NAC ゲスト サーバのホットスポットを使用すると、管理者は独自のポータル ページを作成し、Cisco NAC ゲスト サーバでそれらをホストできます。

管理者が作成するホットスポットをすべてカスタマイズして、以下を提供するキャプティブ ポータルとして使用できます。

- カスタマイズされた認証ページ：ゲストのポータル ページを、各キャプティブ ポータル デバイスではなくゲスト サーバに配置して、設定および表示を行う中心的な場所を提供できます。
- ゲストセルフ サービス：ゲストはそれぞれの詳細を入力して独自のゲスト アカウントを作成し、登録できます。
- クレジット カード請求のサポート：管理者は、アカウントを購入するための支払いゲートウェイにリンクして、ゲストがゲスト アカウントを購入するのを許可できます。

この章では、次の内容について説明します。

- [ホットスポット サイトの設定](#)
- [支払いプロバイダーの設定](#)
- [ホットスポット Web ページの作成](#)

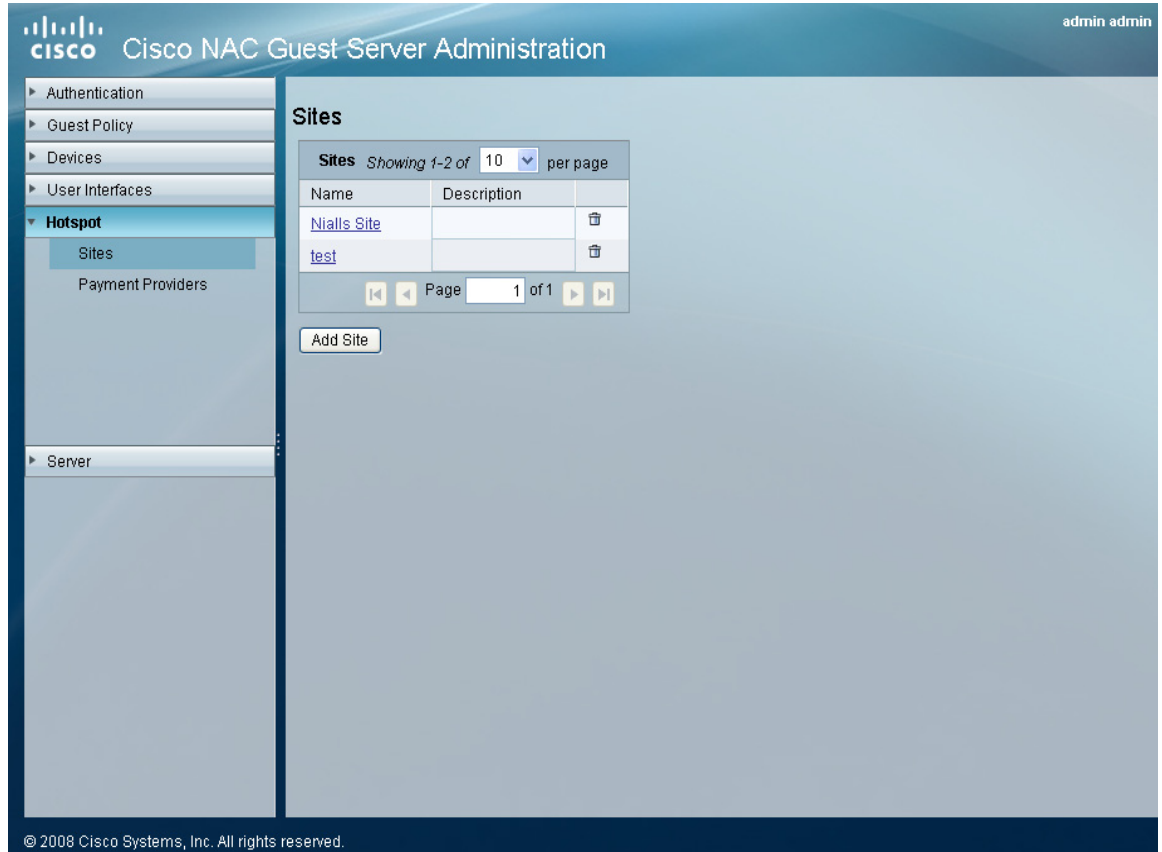
ホットスポット サイトの設定

管理者は、Cisco NAC ゲスト サーバにカスタム ページをアップロードしてホットスポットを追加できます。

ホットスポット サイトの追加

ステップ 1 管理インターフェイスのメニューから、[Hotspot] > [Sites] を選択します (図 12-1)。

図 12-1 ホットスポット サイト



ステップ 2 [Add Site] ボタンをクリックして、[Add New Site] ページを表示します (図 12-2)。

図 12-2 Add New Site

ステップ 3 [Add New Site] ページで、[Site Name] フィールドにサイト名、[Site Description] フィールドにサイトの説明を入力し、[Create Site] ボタンをクリックします。

ステップ 4 自動的に [Files] タブ (図 12-3) が表示され、作成したサイトへのファイルのアップロードまたはダウンロードを選択できます。

図 12-3 サイトへのファイルのアップロード/ダウンロード



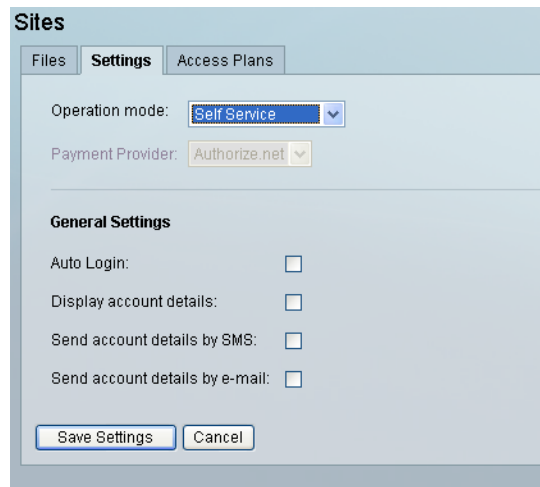
ステップ 5 [Files] タブには、Cisco NAC ゲスト サーバ上のサイトの root の場所が示されます。ゲスト サーバ上のこのディレクトリにすべてのファイルを手動でアップロードする必要があります。ファイルをアップロードするには、SCP または SFTP クライアントを使用して、root ユーザ アカウントでゲスト サーバに接続します。すべての Web ページを指定されたディレクトリに格納します。



(注) 2 つの NAC ゲスト サーバ間にレプリケーションがある場合、サイト ファイルのレプリケーションは自動的に実行されません。ファイルは両方のボックスに SFTP 送信する必要があります。

ステップ 6 上記の手順が完了したら、[Settings] タブ (図 12-4) をクリックします。

図 12-4 サイトの設定



ステップ 7 [Operation mode] ドロップダウン メニューから、次の 3 つの操作のいずれかを選択できます。

- **Payment Provider** : [Payment Provider] オプションでは、支払い提供請求システムに統合できます。また、ドロップダウンから定義済みの支払いプロバイダーを選択する必要があります (詳細については、「支払いプロバイダーの設定」(P.12-6) を参照してください)。該当する支払いプロバイダーを選択し、ステップ 8 に進みます。
- **Self Service** : [Self Service] オプションを選択すると、ゲストセルフ サービスが許可されます。オプションを選択したら、ステップ 8 に進みます。
- **Authentication** : [Authentication] を選択すると、ゲストに対して RADIUS 認証が許可されます。ステップ 9 に進みます。

ステップ 8 [General Settings] セクションで、次のオプションを有効にするかどうかを選択できます。

- **Auto Login** : アカウントが作成されたあとにアカウントにログインします。

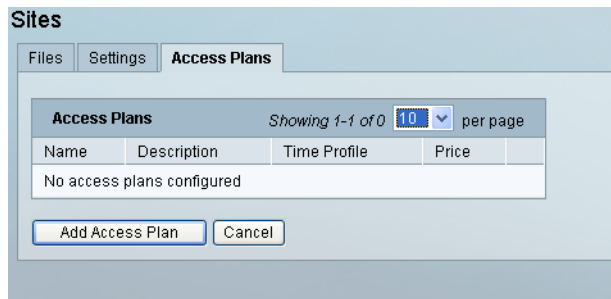
- **Display account details** : アカウントが作成されたあとにアカウントの詳細を表示します。
- **Send account details by SMS** : アカウントの詳細を SMS で送信します。
- **Send account details by e-mail** : アカウントの詳細を電子メールで送信します。

ステップ 9 完了したら、[Save Settings] ボタンをクリックします。

ステップ 10 **ステップ 7** で [Payment Provider] を選択した場合は、**ステップ 11** に進みます。それ以外の場合、サイトの設定は完了です。

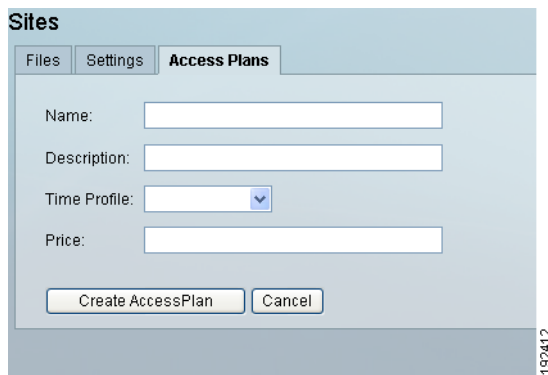
ステップ 11 上記の手順が完了したら、[Access Plans] タブ (図 12-5) をクリックします。

図 12-5 Access Plans



ステップ 12 [Add Access Plan] ボタンをクリックして、必要の場合はサイトにアクセス プランを追加します (図 12-6)。

図 12-6 アクセス プランの追加



ステップ 13 次のフィールドにアクセス プランの関連情報を入力します。

- **Name** : アクセス プランの名前。
- **Description** : アクセス プランの説明。
- **Time Profile** : ドロップダウン メニューから、「[時間プロファイルの設定](#)」(P.6-11) の説明に従って作成された定義済み時間プロファイルを選択します。
- **Price** : アクセス プランの価格を入力します。

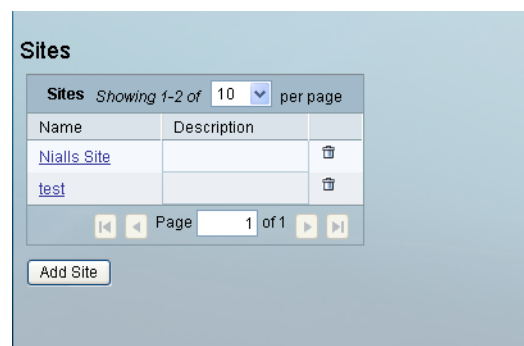
ステップ 14 上記の手順が完了したら、[Create Access Plan] ボタンをクリックして終了します。

既存のホットスポット サイトの編集

既存のホットスポットは必要に応じて編集できます。

ステップ 1 管理インターフェイスから、[Hotspot] > [Sites] を選択します (図 12-7)。

図 12-7 ホットスポットの編集



ステップ 2 リストから編集するサイトを選択し、下線の付いたユーザ名をクリックします。

ステップ 3 [Files] タブには、NAC ゲスト サーバ上のサイトの root の場所が示されます。ゲスト サーバ上のこのディレクトリにすべてのファイルを手動でアップロードする必要があります。ファイルをアップロードするには、SCP または SFTP クライアントを使用して、root ユーザ アカウントでゲスト サーバに接続します。すべての Web ページを指定されたディレクトリに格納します。



(注) 2 つの NAC ゲスト サーバ間にレプリケーションがある場合、サイト ファイルのレプリケーションは自動的に実行されません。ファイルは両方のボックスに SFTP 送信する必要があります。

ステップ 4 上記の手順が完了したら、[Settings] タブをクリックします。

ステップ 5 [Operation Mode] ドロップダウン メニューから、次の 3 つの操作のいずれかを選択できます。

- **Payment Provider** : [Payment Provider] オプションでは、支払い提供請求システムに統合できます。また、ドロップダウンから定義済みの**支払いプロバイダー**を選択する必要があります (詳細については、「[支払いプロバイダーの設定](#)」(P.12-6) を参照してください)。
- **Self Service** : [Self Service] オプションを選択すると、ゲストセルフ サービスが許可されます。
- **Authentication** : [Authentication] を選択すると、ゲストに対して RADIUS 認証が許可されます。

ステップ 6 [General Settings] セクションで、次を許可するかどうかを各ボックスをオンまたはオフにして決定します。

- **Auto Login** : アカウントが作成されたあとにアカウントにログインします。
- **Display account details** : アカウントが作成されたあとにアカウントの詳細を表示します。
- **Send account details by SMS** : アカウントの詳細を SMS で送信します。
- **Send account details by e-mail** : アカウントの詳細を電子メールで送信します。

ボックスをオフにすると、上記オプションのいずれも許可されません。

ステップ 7 完了したら、[Save Settings] ボタンをクリックします。

ステップ 8 [ステップ 5](#) で [Payment Provider] を選択した場合は、[ステップ 9](#) に進みます。それ以外の場合、サイトの設定は完了です。

- ステップ 9** 上記の手順が完了したら、[Access Plans] タブ () をクリックします。
- ステップ 10** 次のフィールドにアクセス プランの関連情報を入力します。
- **Name** : アクセス プランの名前。
 - **Description** : アクセス プランの説明。
 - **Time Profile** : ドロップダウン メニューから、「[時間プロファイルの設定](#)」(P.6-11) の説明に従って作成された定義済み時間プロファイルを選択します。
 - **Price** : アクセス プランの価格を入力します。
- ステップ 11** 上記の手順が完了したら、[Create Access Plan] ボタンをクリックして編集を終了します。

既存のホットスポット サイトの削除

管理インターフェイスから既存のホットスポット サイトを削除できます。

- ステップ 1** 管理インターフェイスから、[Hotspot] > [Sites] を選択します (図 12-8)。

図 12-8 削除するホットスポットの選択



- ステップ 2** リストから削除するサイトを選択し、[Description] フィールドの横にあるゴミ箱アイコンをクリックします。
- ステップ 3** プロンプトで削除を確認します。

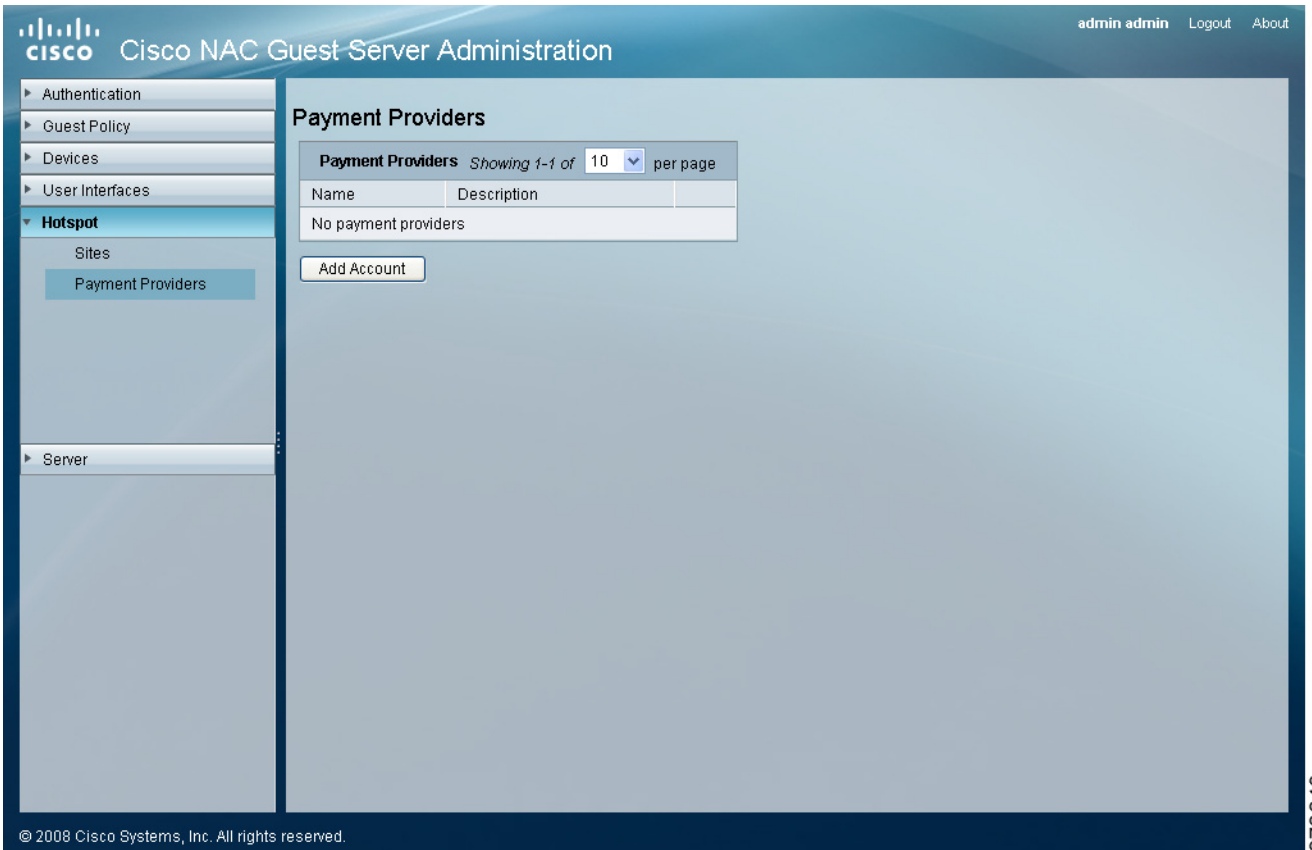
支払いプロバイダーの設定

Cisco NAC ゲスト サーバを使用してクレジット カード請求によるアカウントの購入をゲストに許可する場合は、支払いプロバイダーの詳細を追加する必要があります。支払いプロバイダーの詳細は、支払いプロバイダーでクレジット カード請求をアカウントに対して実行できるようにするために必要です。

支払いプロバイダーの追加

ステップ 1 管理インターフェイスから、[Hotspot] > [Payment Providers] を選択します (図 12-9)。

図 12-9 支払いプロバイダーの追加



ステップ 2 [Add Account] ボタンをクリックし、表示されたフィールドに関連情報を入力します (図 12-10)。

図 12-10 新しい支払いプロバイダーの追加

ステップ 3 次のフィールドに必要な事項を入力します。

- Account Name : 支払いプロバイダー アカウントの名前を入力します。

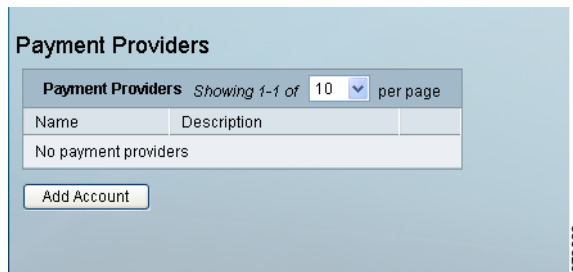
- Account Description : 支払いプロバイダー アカウントの説明を入力します。
- Payment Provider : 表示されるドロップダウン メニューから該当する支払いプロバイダーを選択します。
- API Login : 支払いプロバイダー アカウントの API ログインを入力します。
- Transaction Key : 支払いプロバイダー アカウントのトランザクション キーを入力します。

ステップ 4 完了したら、[Save Payment Provider] ボタンをクリックします。

支払いプロバイダーの編集

ステップ 1 管理インターフェイスから、[Hotspot] > [Payment Providers] を選択します (図 12-11)。

図 12-11 支払いプロバイダーの編集



ステップ 2 編集する支払いプロバイダーの下線付きのリンクをクリックします。

ステップ 3 次のフィールドに必要な事項を入力します。

- Account Name : 支払いプロバイダー アカウントの名前を入力します。
- Account Description : 支払いプロバイダー アカウントの説明を入力します。
- Payment Provider : 表示されるドロップダウン メニューから該当する支払いプロバイダーを選択します。
- API Login : 支払いプロバイダー アカウントの API ログインを入力します。
- Transaction Key : 支払いプロバイダー アカウントのトランザクション キーを入力します。

ステップ 4 完了したら、[Save Payment Provider] ボタンをクリックします。

ホットスポット Web ページの作成

Cisco NAC ゲスト サーバでは、標準の HTML を使用してホットスポットを作成できます。これにより、選択したどの方法でもルック アンド フィールドをカスタマイズできます。

HTML ページを Web サイトに必要な機能に統合するには、いくつかの固定コードをページに含める必要があります。これにより、プログラミングを行う必要なく簡単に統合できます。

Wireless LAN Controller のログイン コンポーネントの追加

Web ページにログイン コンポーネントを追加するには、2 つの異なる項目を含める必要があります。

- ステップ 1** HTML の <BODY> タグのあとに、次のコードを追加して、コンポーネントが使用するテキストを変更します。

```
<script type="text/javascript">

//properties object
var ngsOptions = {};

/**
 * array with status messages
 */
ngsOptions.messages = new Array();

ngsOptions.messages[1] = "You are already logged in. No further action is required on your part.";
ngsOptions.messages[2] = "You are not configured to authenticate against web portal. No further action is required on your part.";
ngsOptions.messages[3] = "The username specified cannot be used at this time. Perhaps the username is already logged into the system?";
ngsOptions.messages[4] = "The User has been excluded. Please contact your administrator.";
ngsOptions.messages[5] = "Invalid username and password. Please try again.";

/**
 * array with labels for the form elements
 */
ngsOptions.formElements = new Array();
ngsOptions.formElements['username'] = 'Username: ';
ngsOptions.formElements['password'] = 'Password: ';
ngsOptions.formElements['submit'] = 'Submit: ';

/**
 * this is required if you want to have a acceptable user policy page
 * the value should be the name of the file for that page
 */
ngsOptions.aup = 'aup.html';

</script>
```

これは、コンポーネントに表示される内容になるため、変更する各要素のテキストを変更する必要があります。

また、Acceptable Use Policy (AUP) を追加する場合は、ngsOptions.aup 変数を AUP ページの名前に設定します。AUP が必要ない場合は、この行は含めません。

- ステップ 2** ページに含める必要のある次のコードは、ログイン ボックスを表示する場所に挿入します。

```
<!-- this is how to include the wlc login widget on the page -->
```

```
<script type="text/javascript"
src="/sites/js/ngs_wlc_login.js"></script>
```

Wireless LAN Controller の Acceptable Usage Policy の追加

「Wireless LAN Controller のログイン コンポーネントの追加」(P.12-9) で説明したように、AUP を含めることを指定した場合は、AUP ページを次のように構築する必要があります。

ステップ 1 ページの <BODY> タグのあとに、以下を追加します。要素のテキスト値をカスタマイズできます。

```
<script type="text/javascript">

var ngsOptions = {};

ngsOptions.formElements = new Array();
ngsOptions.formElements['accept'] = 'Accept';
ngsOptions.formElements['reject'] = 'Reject';

ngsOptions.errorPage= 'error.php';

</script>
```

ステップ 2 Accept/Reject コントロールを挿入する場所に、次のコードを入力します。

```
<script type="text/javascript" src="/sites/js/ngs_wlc_aup.js"></script>
```

請求用の支払いコントロールの追加

サイトが請求をサポートするものとして指定されている場合は、支払いコントロールを追加して、ゲストの支払い詳細を取得できます。

ステップ 1 ページの <BODY> タグのあとに、以下を追加します。要素のテキスト値をカスタマイズできます。

```
<script type="text/javascript">

var ngsOptions = {};

ngsOptions.formElements = new Array();

ngsOptions.formElements['accessPlans'] = 'Access Plans: ';
ngsOptions.formElements['cardHolder'] = 'Card Holder Name: ';
ngsOptions.formElements['cardType'] = 'Card Type: ';
ngsOptions.formElements['billingAddress'] = 'Billing Address: ';
ngsOptions.formElements['country'] = 'Country: ';
ngsOptions.formElements['postcode'] = 'Postcode: ';
ngsOptions.formElements['ccNumber'] = 'Credit Card Number: ';
ngsOptions.formElements['expirationDate'] = 'Expiration Date: ';
ngsOptions.formElements['securityCode'] = 'Security Code: ';
ngsOptions.formElements['issueNumber'] = 'Issue Number: ';

ngsOptions.errorPage('error.php');

</script>
```

ステップ 2 支払いオブジェクトを挿入する場所に、次のコードを入力します。

```
<script type="text/javascript" src="/sites/js/ngs_payment.js"></script>
```

パスワード変更のコンポーネント

パスワード変更のコンポーネントを使用して、ゲストはパスワードを変更できます。

- ステップ 1** ページの <BODY> タグのあとに、以下を追加します。要素のテキスト値をカスタマイズできます。

```
<script type="text/javascript">

var ngsOptions = {};

ngsOptions.formElements = new Array();

ngsOptions.formElements['oldPassword'] = 'Old Password';
ngsOptions.formElements['newPassword'] = 'New Password: ';
ngsOptions.formElements['confirmPassword'] = 'Confirm: ';
ngsOptions.formElements['submit'] = 'Change Password: ';

ngsOptions.messages = new Array();
ngsOptions.messages['success'] = 'Password changed';
ngsOptions.messages['failure'] = 'Failed to change password';

</script>
```

- ステップ 2** パスワード オブジェクトを挿入する場所に、次のコードを入力します。

```
<script type="text/javascript" src="/sites/js/ngs_password.js"></script>
```

ゲストセルフサービスのコンポーネント

ゲストセルフサービスのコンポーネントを使用すると、ゲストはアカウントに自身を登録できます。

- ステップ 1** ゲスト登録オブジェクトを挿入する場所に、次のコードを入力します。

```
<script type="text/javascript" src="/sites/js/ngs_self_service.js"></script>
```

- ステップ 2** このコンポーネントのテキストは、デフォルトのユーザ インターフェイス テンプレートから取得されます。デフォルトのユーザ インターフェイス テンプレートの編集の詳細については、「[ユーザ インターフェイス テンプレート](#)」(P.11-1) を参照してください。

- ステップ 3** ゲストについて入力が必要な詳細は、ゲスト詳細ポリシー ([Guest Policy] > [Guest Details]) から取得されます。詳細については、「[ゲスト詳細ポリシーの設定](#)」(P.6-4) を参照してください。
-

